

令和5年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

中2

福岡県立門司学園中学校

自己評価			
学校運営計画(4月)		評価(総合)	
学校運営方針	併設型中高一貫教育校として、生徒一人一人の豊かな人生実現を支えるべく、中高それぞれの教員が相互に連携し、その特性を最大限に生かす6年間を見通した教育課程を確立し、100年後に繋がる確固たる礎を築く。		
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
(成果) 「新たな学びプロジェクト」を通してICTの活用が進み、魅力ある分かる授業、学力を高める授業に向けた授業改善、やる気を生み出す評価の在り方についての改善を進めることができた。また、生徒一人一人に対応した細やかな進路指導により14期生は45名(39.1%)が国立大学に現役合格を果たし全体に対する割合が過去最高並みの記録となった。さらに、中高生徒会が連携を図り、挨拶の励行やコロナ禍での行事の企画・運営にオンライン等を積極的に取り入れ、生徒の主体性を育む中高一貫教育校ならではの教育活動の実現に努めることができた。 (課題) 一人一台タブレット端末の活用について、教務課、ICT推進課、研修課と連携し、わかりやすい授業構築に向けて研鑽を積みみたい。生徒の学力向上と進路実現にむけたキャリア教育の充実を目指したい。また、6年間を見据えた中高一貫教育の実現に向けて、中高合同研修会や合同教科会議において、大学入試改革に伴う対応や新学習指導要領実施について最新の情報を共有し、本校の課題を明確にすることで教育活動の充実を図りたい。また、指導方法・授業評価方法の研究に努め、魅力ある分かる授業、学力を高める深みのある授業を展開することで、生徒の学びに向かう意欲をより高めたい。その上で魅力ある学校づくりを一層推進し、中学校志望者の増加、高校への内進・外進の進学者の増加を図り、生徒・保護者・地域から信頼される学校づくりを推進していきたい。	人心を育てる道徳教育・人権教育の充実 「夢」をもち、「挨拶」のできる生徒の育成 キャリア教育・進路指導の充実と希望が達成できる進路保障 学力向上策実践と授業改善 門司学園の魅力を積極的に発信 20周年記念行事の成功	・自他の人権意識を再認識し、お互いを尊重し、気持ちよく学校生活を送ることができる学習環境の整備を一層推進する。 ・人命軽視の風潮を根絶し、いじめ、中途退学、不登校のない学校づくりを実践する。 ・生徒各人に「夢」を持たせ、意欲的に学ぶ姿勢を身につけさせる。 ・異年齢集団における「挨拶」の大切さに気づかせ、中高一貫教育校ならではの「長幼の序」の精神を涵養する。 ・中高一貫教育の制度を十分活用し、中学校、高等学校におけるキャリア教育、進路学習の有機的な関連づけを強化する。 ・進路指導のより一層の強化、充実を図り、生徒一人一人の希望進路達成のための指導力を強化する。 ・生徒に志を持たせ、自ら意欲的に学ぶ生徒を育成する。 ・6年間を見通した教育課程を充実発展させることにより、個々の生徒の進路実現を支える確かな学力を身につけさせる。 ・一人一台タブレット端末を活用し、指導方法・授業評価方法の研究に取り組み、魅力ある分かる授業、学力を高める授業を展開する。 ・生徒が門司学園で生き生きと学校生活を送っている姿や希望進路を実現させている実績をこれまで以上に積極的に発信する。 ・学校説明会の内容を更に充実させ、学校HPをより魅力あるものに作り変え、更新を頻繁に行う。中学校訪問の時期や内容を工夫し、多くの方に門司学園の魅力を知らせてもらえるように努める。 ・体育大会、学園祭などの既存の学校行事を20周年記念大会等とし、記念に残る工夫を行う。 ・20年の節目の行事を通し、これからの門司学園のさらなる発展に貢献する意識を育てる。	
	評価項目	具体的目標	具体的方策

学校関係者評価	
評価(総合)	自己評価は
A	A : 適切である B : 概ね適切である C : やや適切である D : 不適切である
項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見

項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
A	・中高合同の公開授業を積極的に開催し、中高一貫教育ならではの、特色ある教育活動について、広く周知をお願いしたい。 ・一人一台タブレット端末の有効な活用をお願いしたい。成績上位者や不振者にに対し、個に応じた支援ができるような方策を考えていただきたい。
A	・開かれた学校行事の推進をお願いしたい。学園祭の地域への公開や、吹奏楽部のコンサートなど地域への公開や、吹奏楽部のコンサートなど地域の方とともに歩む学校となっていたきたい。 ・中高合同の活動を増やし、お互いの成長につなげていただきたい。
A	・フィールドワークの機会を作り、地域の課題を自ら発見し、解決する力を育成する探究活動の充実をお願いしたい。地域に貢献する力を育んでいただきたい。 ・卒業生や職業人との交流活動を積極的に行い(オンラインも含め)中高6年間を見据えた、キャリア教育に取り組んでいただきたい。
B	・日々の人権教育の取組によって、人権意識を高めていただきたい。

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

・6年間を見据えた中高一貫教育の実現を受けて、中高の連携の強化を図りたい。大学入試改革への対応や本校生徒の学力に関する課題を共有できる協議や研修を充実させる。 ・個別最適な学習環境を充実させるためにも、一人一台端末の活用について研究を深め、授業改善や家庭学習の定着を推進する。 ・自他の人権意識を再確認させ、お互いの存在を尊重して自己肯定感を高めるための、学校の環境作りをすすめる。 ・総合的な学習の時間の探究のサイクルを通して、自ら課題を発見し、解決する力を育む。
--

評価項目以外のものに関する意見
・本校の魅力発信に力を入れていただくとともに、在校生の学校生活に対する満足度が高くなるような取組を行っていただきたい。また、公共交通機関やスクールバスを利用した通学手段が生徒や保護者の経済的負担の増大につながらないような努力を続けていただきたい。